魚津市広報

発行所
魚津市市田方町80番地
魚津市役所
秘書人事課
編輯發行人　清河七良
（毎月1日・15日発行）

魚津町木下村市津町
文興印刷株式会社

防災抜本策樹つ

水魔に備え

片貝川、布施川、角川の大改修

昭和廿八年の元日、金光市長は水害復興防災策について各河川に、改良事業を施し災害に対する抜本策を講ずると述べたが、それに基いて、魚津を水災から守る諸計画が着々と進められている。

それは市を貫流する角川、片貝川、布施川、（縣支弁川）が、昭和廿八年の元日、金光市長は水害復興防災策について各河川に、改良事業を施し災害に対する抜本策を講ずると述べたが、それに基いて、魚津を水災から守る諸計画が着々と進められている。

あるので今度河川の改修工事が進められることになつた。

是等の災害助成河川の計画の概要は

角川としては

古鹿熊より下流河口まで延長八千二百米位で事業費は約一億一千万円をもつて川巾をひろげ曲折を少なくする。

片貝川

板橋より下流天神橋まで延長九千百米位で事業費が約五億三千万円

布施川

左岸黒澤より下流小川寺迄右岸笠破より下流中陣迄を延長約四千四百米位で、事業費が約一億円余をかけそれ〳〵各河の曲折個所を修正し狹隘個所をひろげるなど急流三ヶ川から水害を守る事業が進められるわけで目下既に角川筋の金山谷小学校附近――片貝川筋は山女分校附近及び東城橋附近の工事が着々と進められている。

然し工事が実施せられるに當つては潰地問題等が生じてくるのであつて、その沿岸の方々の御苦痛は誠に忍び難いものであるが、改修の川巾は水理上絶對的必要なものがあるので、災害助成事業に深い理解を頂いて一致協力のもと、一日も早く水魔の恐怖のない平和な産業都にせねばならぬ。

議會の動き

昭和二十八年魚津市第一回臨時会を市議場で開かれた。

議事日程

一、会議錄署名議員選擧の件
二、議案第八号市債借入及び償還方法の件
三、議案第十一号魚津市手数料條例の一部を改正する條例設定について、（轉出証明書が一通五十円に）
四、議案第十二号寄附物件受納の件（関口与平氏からの寄贈された二百廿二冊の図書）
五、議案第三号魚津市職員の給与に関する條例の一部を改正する條例の設定について
六、議案第四号魚津市長、助役及び收入役の給与に関する條例の一部改正する條例の設定について
七、議案第五号魚津市職員定数條例の一部を改正する條例の設定について
八、議案第一号魚津市議會議員の報酬及び費用辨償支給條例の一部を改正する條例設定について
九、議案第二号魚津市議会議員及び魚津市教育委員会委員の期末手当支給に関する條例設定について
一〇、議案第七号昭和二十七年度魚津市歳入歳出追加更正予算（第九回分）
二、議案第九号昭和二十七年度魚津市國民健康保險事業歳出更正予算
三、議案第一〇号昭和二十七年度魚津市國民健康保險直営診療施設勘定歳入歳出追加予算（第一回）
三、議案第六号魚津市退職年金及び退職一時金條例の設定について
四、森林行政計画樹立に関する決議の件

議案第六号以外の議案は全部原案通り議決され第六号議案魚津市退職年金及び退職一時金條例の設定については委員会に付託された。

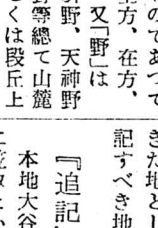
決議

森林行政計画樹立に関する決議

市當局はこの際熱意を以つて速急に森林行政に関する主務職員を充實し、森林行政についての認識を深められて、魚津市の森林の實情に即したる大森林事業計画を樹立して速かに森林資源の増殖に寄與せられると共に奥地森林地帯の水源の涵養と下流の水災害の未然防止等に万全を期して一時市民の福祉に應えられんことを強く要望する。

右決議する。

昭和二十八年一月二十日　魚津市議会



友道に保育所が建ちます

かねてから待ち望んでいた市立保育所愛育園は、市當局の苦心と、市民みなさまの熱意とによつて、友道地内の西部中学校裏側に、建坪一一六坪、收容兒定員一〇〇名の園舎が建てられることになつて、いよいよその工事が着手されました。

長い間不自由を忍んできた同園の子供たちも來る四月からは、立山連峯を一望に眺め、日あたりのよい、きれいな空氣のなかで、心ゆくばかり樂しく、保育されることになつたことは、ほんとうに子供たちにとつて幸福なことであり、又喜ばしいことであります。

昭和28年度市民税給與所得申告書の提出について

一、この申告を出さなければならない人

昭和二十七年中に給與所得があつた人（俸給、給料、歳費、恩給、賞與、賃金（日給、日傭でも会社、組などで支拂を受けた人も入ります）

一、提出期日　二月十五日

一、申告用紙　廣報員を通じ二月一日頃各人宛配布の豫定。

農地の交換分合について

今までは少し位耕地が散在していても、收獲の多い農地を耕作することを望んでおり、往復の勞力等を余り考えなかつた時もありましたが、しかしこれからの農業はそんな非生産的な無駄な勞力は努めて有効に使うように考えねばなりません。

その方法は色々ありますが、耕地の交換分合事業はその最も近道の一つであります。効果についてもみなべ御參考に供しますこの部落は總耕地面積二〇七反農家戸數一六戸の小部落であります、全農家が參加し一町歩の農地を交換分合した時間は一戸平均一時間十五分が二十九分に短縮されるといふ成果を示しているそうです。

又農業所要勞力は男子二二八八人（反當一〇、九人）が一七五四人日（反當八、四人）に女子一六八五人日（反當八、〇人）が一四六二人（反當六、〇人）になり馬二日（反當一、〇日）が二〇七日（反當一、〇日）に節減されました。

この節減された時間的便益を、男子一日の勞賃男三〇〇円女子二五〇円馬六〇〇円と假定計算してみますと實に大きい額になります。

そして又この余剰勞力を色々の面に利用し之又多大の收益を擧げています。

さあ皆さん実行には色々の難関がありましようが、思いきつて二階からとびおりるような氣持ちでやりましよう。

× ×

…銀嶺に躍る…

◎第一回魚津市及び下新川郡中学校對抗スキー大会

市教委、市体協、市中体連下新川郡中体連共催のもとに、二月一日開木山スキー場において中学校對抗スキー大会が開催されました。

絶好のコンデションのもとに數十名にのぼる若人の日頃の腕を充分に発揮し盛会裡に終了しました。

～（スキー場案内）～

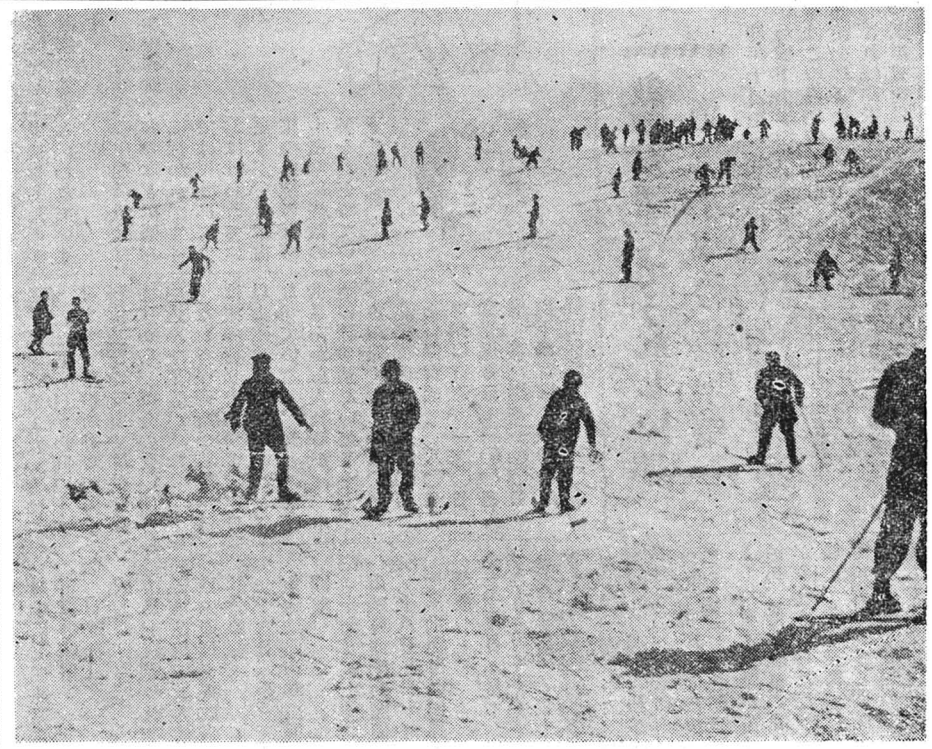
● 開木山スキー場

初級中級向として縣下有数のスキー場で、面積数万坪に及ぶ廣大な場所で、電鉄魚津驛から徒歩一時間、スキー場から眼下には、魚津市が一望に眺められ、紺碧の富山灣の絶景を樂しみ乍ら、銀線に一日を親しむことができます。

● 大杉山、兜山スキー場

北山、坪野鑛泉を中心として大杉山、兜山のスキー場は山岳スキーを充分樂むことのできる好地で、スキーを終えて、一日の疲れをこの鑛泉に休め、心ゆくまでに暖を取ることもできます。尚北山坪野までは道路に雪の少い時は電鉄魚津驛から、地鉄バスの便があります。

この外、この邊に初心者、經驗者の各スキー家の適する地は至る所にまつています毎、日曜日には魚津市体育協会で初心者の指導講習会を開催すると共に、一般の希望參加の下にスキーツアーを計画しております。



開木スキー場

企業診斷制度の活用

企業診斷制度の普及と、中小企業の合理化を促進するため中小企業廳が特に、本制度を奬勵しているので診斷希望の向は市商工水産へ申込下さい。

尚本制度の詳細事項は次の通り。

一、診斷費用　一切無料

二、診斷方法　診斷員（縣の職員と特殊技術を必要とするときはその專門家が約四日間、總合的に又は、部門的に調査分析して計數に基く改善案を作り、最終日に工員、經營者、診斷員三者が、この改善案について說明をきいた後意見の交換会を行う。

三、改善案の実施援助　企業診斷の結果その企業の實行のできる範圍内で具体的に技術指導を行う

四、秘密の保持　診斷員は登錄制度になつていて極秘扱とし、課税對象、その他に利用されることは絶對にない。

開拓

（一）上野方の郡

東南及び東部には立山山脈の一小支脈の余波が及んで、出山、大谷山、石垣山などの諸丘陵が、起伏重疊しその麓から起つたこの地は、東と南に斷層をもちながら、西北に向つて階段状をなして次第に傾斜し、野方一帯をなしています。その丘陵石垣字大坊一帯の地から、石器時代の遺物である石器土器の破片等が、今尚附近の小塚や耕土の中から発堀される点から、早月上野、天神山附近と共に先住民族の生活地帯として認められるわけであります。

然し一般住民の移住して開拓に從事した記錄は比較的新しく、延寶元年（西紀一六七三）十月、今から約二百八十年前藩主前田綱紀公によつて開拓せられたのであります。藩主の命によつて開拓奉行、市橋武左衛門並に栗田甚太の両名が出張し農民多数の協力によつて、野方一帯の原野（雜草に蔽われ灌木繁り、茫々として荒れ果て 荊棘繁茂した丘陵地）を開拓し美田と化したのであります。

この台地は片貝、早月の流域に平行してできた洪積層で、その上層は非常に肥沃な腐殖土の原野で、ここに着眼し、開拓に着手したのも當然であります。

この地、野方の名の「方」は方向を示すものであつて例えば山方、里方、在方、町方のように、又「野」は十二貫野、長引野、天神野大海寺野、吉野等總て山麓の丘陵地か若しくは段丘上にあり、殆んどが藩制時代に至つて開拓せられた處で多くは水利不便な土地であり、從つてこの地を開拓し美田にするには、引用水に少からぬ努力が拂われていることを現住民が強く意識せねばならぬと思います。

柳田國男先生は「野とは我々が常識的に解している平野ではなく、裾野、緩傾斜地の意である」と、述べておられるように、この地もこの意味によつて野方と稱せられ、明治二十二年町村制実施の際、上下に分れ上野方と称するようになつたのであります。

この地方には二つの用水が貫流しています。その一は荒井用水で、寛文十二年（西紀一六七二）九月工事に着手し、延寶六年（西紀一六七八）四月竣工しました。取入口は片貝谷平澤字赤岩の下から約二里有余の山地を開さくした大工事で、當時の用水測量工事奉行早川加兵衛及淺尾市兵衛、開さく工事奉行には市瀬武左衛門及栗田甚太が命ぜられました。

その二は古田用水で、片貝谷島尻東城橋附近から取入れ、道坂の山腹を廻つて野方に入り大谷川を合せ、大海寺野の東部を貫流して角川に入つているが、この二つの用水がこの地方の灌漑と飲用水に利用せられ、次第に聚落をなしてきたのであります。

この地で最も古く開けたと傳えられる所に苅安の地があります。この邊から湧出する泉水は、飲用灌漑に特別よかつたので、ここに居を構え土地開拓の先驅となられたのでしよう。「苅安どん」といわれた旧家の大きな屋敷の跡も、今尚そのままに存しています。

大海寺野は大海の如き廣い原野であるからその名が生じたと傳えられるように一望千里の大丘陵地の最も肥沃な土地で、洪水にも見舞われず最も平和に生活できた地として、開拓史上特記すべき地かと思います。

『追記』

本地大谷山の南方一高地に笠取という處がある、今は大谷から松倉坪野に通ずる山路の峠で、今から三百年余前松倉郷鹿熊城主椎名右衛門を攻撃のため天神狭城にいた上杉景勝は、兵士を指揮してこの地に差掛つた際、指呼の間にある鹿熊城内をのぞきみた時、笠を取つた所と言傳えられているが眞疑は明かでない。

早月川合口用水事業

昭和二十八年度新予算に計上さる早月川合口用水事業『田、三千三百七十町歩』がうるほう。

待ち望んでいた早月川地區用水改良事業が農林省の二十八年度新規事業として新予算に取上げられ、近く着工されることになりました。

これは早月川左右兩岸用水により灌漑されるもので取水極めて困難な、各用水を連絡統一し取水設備を完全にすると共に、流水客土によつて、漏水田をなくして、用水量の節減をはかり旱魃による被害を防止するものであります。それによつて渇水時の旱魃に惱む早月川地區の約三、三七〇町歩をうるほし、增産を計つて農業経営の安定を期そうとするもので、かねてより要望されていたものです。

今回それが実現の運びとなつたが、これが完成すれば左岸の滑川町、濱加積、早月加積、北加積、東加積中加積、西加積、山加積、上條、宮川の各村や水橋町等を加えそれに右岸の魚津市を加えて米作一万三千四百石の增收となり、魚津市だけでも約千七百石も增收できることになります。

尙これについては、各関係市町村当局をはじめ、各関係者の献身的努力によるものであります。

住民登録の届出について

◇住民登録は七月一日の一齊調査だけですんだのではありません。

◇今迄の寄留制度がなくなりましたが、配給と同様に、居るところが変つたり身分上の変更があつたら左の表をみて必ずその届出をして下さい。

◇他町村へ轉出せられる方は必ず「住民票」の謄抄本を受けて轉出先の町村へ届出して下さい。

◇左の届出の用紙は市役所に備えてありますから「世帶主」の印をもつて來て下さい。

◇十四日間以内に届出をしないと失期者として違反になります。何時も確実に届けて自分の公簿「住民票」のちがいがないようにいたしましょう。

★(　)☆

表覽一出届

届出の種類	転入	転居	変更	国外移住
届出原因（どうしたとき届出るか）	他の市町村から魚津市へ新に住所を定めたとき或は養子、嫁婿等で魚津市へ他の市町村から来たとき	魚津市内で住所を変更したとき	住民票の記載事項に変更を生じた場合 例◉同一の住所で世帶を分けた場合 ◉いままでの世帶主が死亡したので新たに世帶主を定めたとき	国外に移住する目的で住所を去るとき
届出期間（いつまで届出るか）	住所を定めた日から十四日以内	新住所を定めた日から十四日以内	変更を生じた日から十四日以内	あらかじめ
届出義務者（誰が届出るか）	一、世帶主 二、世帶管理者 三、事件本人			
届出先	魚津市長 （市役所、各支所戸籍係で取り扱います）			
事件本人（だれのことか）	新に住所を定めたもの	住所変更者	住民票の記載事項変更者	国外移住のための退去者

註
◎届出は原則として世帶主がすることになつている
◎世帶主が届出することができないときはこれに代つて世帶を管理するものが届出る
◎右によることが出來ないときは本人が届出る

二月三日の節分祭

節分の日の寒夜、主人が上（かみ）下（しも）に威儀を正して、三寶の上の「いり豆」を力強く各部屋々々に、撒きながら「福は内…鬼は外…」と、聲高らかに、一家の幸福を祈る姿は誠に古風であり、我が國固有の行事であります。

節分は二月三日で立春の前日に当り、冬の最後の日になります。

昔しから年越しと云われ「いり豆」を室内に撒き、鬼拂の行事を行つてきました。平安朝の頃には寒気を送り出す行事であつたが、室町時代の應永年間（元年は西紀一三九四）大豆を撒いて邪気を拂う行事となり江戸時代になると一般の家庭にも行われる様になりました。

この起源は傳説によると宇多天皇の昔、鞍馬山の奥僧正谷にいた鬼神が、都に亂入し様としたので、三石三斗の豆をいつて鬼の目をつぶし、災厄を免れたのに始まると言われ、又文武天皇の朝、悪疫が諸國に流行し百姓が多く死んだ爲め、追難をして鬼拂をしたのが濫觴であるといわれています。

室町時代の中期以後は日本の神社やお寺などに盛んに行われ、今日では民間にも少しは行われていますが、日本古來の鬼拂の行事も次第に衰微の跡をたどつています。

更生診斷

国立山中病院長伊藤弘博士の手で

去る一月三十一日、午前九時半から魚津保健所で、身体障害者の中の特に肢体不自由者を對象とした更生診斷が、國立病院長伊藤弘博士の手で行われました。

保育所の入所申込

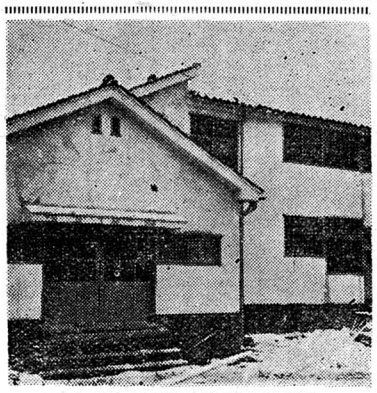
保育所に、兒童の保育を委託したい方は、二月一日から同二十五日まで、市役所社會福祉事務所及び各支所で受付致しますから、都合のよい所へ申込んで下さい。

なお各保育所の收容定員は次の通りであつて、定員以上は收容できないことになつているし、又どんな子供さんから入れるかは、申込の際お話しいたします。

魚津保育園	八〇名
全第二保育園	一〇〇名
上口保育園	八〇名
川原保育園	一二〇名
和光保育園	一〇〇名
愛育園	一〇〇名
道下保育園	一〇〇名
経田保育園	八〇名

教室が増えてうれしい

道下小學校の增築



（校下小学道の染増は眞爲）

昨年十月から着工されていた道下小学校の増改築工事はこの程完成して、同校生徒を喜ばせている。

これは約五百三十余万円の工事費を以つて、今迄同校七百十名の兒童が教室がなくて理科室や其の他の特別教室を教室に当てたりして勉強していたのを、それ〴〵の教室で勉強が出來る様にと、增改築されたもので、約二十坪の五教室、並にこれに附属する廊下、玄関、便所などが新築されました。

尙これに併せて新築の玄關裏には、倉庫と消防車置場が出來、一間に二間の貯水池も出來上り、今までせまかつた校庭も約七〇〇坪が擴張されて生徒達をよろこばせました。

★　☆
☆　★

家畜とサイロ

わが國では昭和四、五年の農業不況以來之が打開策として有畜農業が叫けわれ始め、農業経営の間に家畜が取り入れられたが未だ日浅く、その技術面に於いても研究の要する問題が非常に多く近年飼料の急騰に比較して畜産物價格は著しく下落している現況である。吾々はこの試練のときに當つて特に考えねばならぬことはまづ飼料の自給を圖ることである。そこで飼料の貯藏施設として昨年市内に於いて建設された「サイロ」は補助對象のもの四〇基、其の他にも相當數あるなど市民諸氏の「サイロ」に對する認識の高まりつゝあることは誠に喜ばしい狀態である。

申すまでもなく「サイロ」は經済的飼料の持続的給與法として生草類及び綠肥用作物等を濱物にして與える爲の施設である。

普通円筒型のセメント製のものが用いられ、中型で直徑五尺、深さ八尺、小型は三尺の六尺である。即ち生草類をサイロ内に詰め空気を追出し水分の浸入を防ぎ適當の醱酵をなさしめ保存性を增加し消化吸收を可良ならしめたものがエンシレーヂである。

飼料栽培に於て子実を生産する場合より青刈して其のまま給與するか又はエンシレーヂとして與えた方がはるかに飼料價値が高いのであつて之を大麦について比較すれば実收二石四斗として澱粉價が四五、六〇〇となり青刈六〇〇〆の場合は七〇、二〇〇となる。

今年市に於いて青刈飼料作物の指導圃を一町四反歩設置して之が普及を圖る予定である。昭和二十八年度においても是非サイロを設置され飼料の自給を計つて頂きたい。

◇圖書舘便り

……◇魚津市立図書舘協議会の設置と同協議会委員が任命されました。

圖書舘法第十六條の規定により圖書舘協議會が設置され、同時に同協議会の委員がこのほど教育委員会より左記の方々が任命されました。尙この議会は圖書舘の運営に関し舘長の諮問に應ずるとゝもに、圖書舘の行う圖書舘奉仕につき、舘長に對して意見を述べる機関であります。私達の圖書舘として皆様の御協力により益々立派にしていきたいと思います。

◇図書舘協議会委員氏名

徳田志武美氏、猿倉賢次郎氏、石崎照憲氏、金光康子氏、藤井秀信氏、高野宗雄氏、能沢岩雄氏、平崎菊太郎氏、木下庄作氏、朝野次七氏、田浦とめ氏、木下章氏、高慶政一氏、岩崎健正氏、松岡庄之助氏、小林弘作氏、中山常松氏、富居庄作氏、宮内孝正氏、中尾政一氏

◇催しもの

第四十三回定期レコードコンサートの開催とき　二月七日　午后七時
曲目　❶バラード（ショパン作曲　❷ルイ・アームストロングオールスターバンドによるジャズコンサート　❸ヴアイオリン協奏曲（プラームス作曲）

……◇ナトコ映寫会開催希望の申込について

一月度ナトコ映寫會を開催希望の方は、二月八日迄に市教育委員会又は圖書舘に申込み下さい。題目その他については前号市廣報に掲載した通りであります。

あとがき

●上野方小学校の岩崎清信君から電気がついたうれしさを……

空襲以來八年間のあいだ暗いランプの下で暮して居りましたが、いよ〳〵開木山スキー場にも電気がつくようになると聞いて春から待ちに待つていたその日が参りました。それまでの間学校の友達にも山に電気が來ていないから「山のサル、山のサル」と云われた時も度び度びありましたと電気がついて小踊りした様子が書いてありました。

●二十八年は建設の年だ。同じように魚津市も「熊と鰤」に加えて更に山にも高度の文化的な商業都が生れるだろう。

固定資産稅…第四期分

徵收書發行…2月15日

納期…2月25日まで

市政日誌

1月11日（日）上中島地區市勢振興委員会開催
全　**12日**（月）故秩父宮雍仁親王殿下御葬儀
全　**13日**（火）出漁団結成準備委員会開催
全　**15日**（木）成人の日
市長上京中の處本日歸廳
各地區毎に成人式を擧行
無線通信士養成講習會開講式擧行
全　**16日**（金）魚津地區市勢振興委員会開催
全　**17日**（土）市議會内議会開催
全　**18日**（日）片貝地區市勢振興委員会開催
全　**19日**（月）市議會臨時會開催
經田漁港修築並びに早月川沿岸土地改良陳情のため平澤助役上京
全　**20日**（火）農業協同組合懇親会開催
出漁団結成準備会開催
全　**21日**（水）片貝川、角川改修の件につき懇談会開催
縣監査委員、耕地災害地視察のため來市
福井金澤財務局融資課長來市
全　**22日**（木）道下小学校々舍增築竣工式擧行
工場敷地委員会開催
遺族援護事務打合会開催
全　**23日**（金）加積地區市勢振興委員会開催
遺族会役員會開催
全　**25日**（日）昭和二十七年度農林水産業冬期基本調査訓練会開催